

郡山市PPP/PFI手法導入優先的検討基準に基づく結果報告書

検討段階

PPP/PFI簡易導入可能性調査

事業実施課

都市整備部公園緑地課

施設名称

郡山カルチャーパーク

公共施設総合管理計画に基づく検討開始年度

2020年度

所在地

郡山市安積町成田字東丸山61番地

定量評価結果概要（担当：行政マネジメント課）

簡易な検討では大型遊戯施設やプール等の建替、更新費用の算出などの積算が困難であることから、VFMを適切に把握するため、施設健全度調査による診断や施設の更新などにかかる費用の算出が必要である。

定性評価結果概要（担当：公園緑地課）

都市公園であるカルチャーパークは、PFI手法に加え、Park-PFI手法が活用可能である。Park-PFIやPFI手法においては、整備と維持管理の一体的な実施が可能であり、長期的視点での維持管理運営によるノウハウの蓄積や維持管理コストの縮減が図られる。特にPark-PFIにおいては、公募対象公園施設の設置が必須であり、付加価値を持った提案による市民サービスの向上が期待されるなど、いずれの手法も従来手法に比して有効性は高い。

総合的な評価結果（担当：公園緑地課）

定性評価においては、PPP手法の有効性は高く、カルチャーパークは、開園から31年が経過し、大型遊戯施設やプール設備等の修繕が続いており、今後も同様の傾向が想定されることから、施設健全度調査及び民間活力導入可能性調査を実施し、施設のあり方について検討する。

次の検討段階

PPP/PFIの詳細な導入可能性調査を実施する

備考

- ・カルチャーパークは、老朽化の補修は行っておらず現状等は把握していない。
- ・次の検討段階においては、施設及び設備の健全度調査も実施の上、詳細を調査する。